# お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品ご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。
ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。
所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

**ホームページのご案内**

部品・消耗品・別売品のご購入専用ページ
http://www.zojirushi-de-shopping.com/

**お客様ご相談センター** ナビダイヤル 0570-011874 市内通話料金でご利用いただけます

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

- 携帯電話・PHS・IP電話など(ナビダイヤルが利用できない電話)でのお問い合わせ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ Tel (06)6356-2451
- ファクシミリでのお問い合わせ‥‥‥‥ Fax (06)6356-6143

製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・Fax番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

〒530-0043 大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承願います。

# 保証書

## コーヒーメーカー保証書

持込修理

取扱説明書・本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。
製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。製品のある場所での出張修理や製品輸送の場合は、出張料や輸送料などの実費を申し受けます。

| 型名 | EC-JS80 | 修理メモ |
|---|---|---|
| ※お客様 お名前 | ☎ | |
| ※お客様 ご住所 〒 | | |
| ※お買い上げ日 年 月 日 | ※販売店名・住所 | |
| 保証期間 お買い上げ日より 本体1年 | ☎ | |

※印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

1. ご転居・ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社のお客様ご相談窓口にご連絡ください。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ) 使用上の誤りや不当な修理・改造による故障および損傷。
   (ロ) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
   (ハ) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害・塩害・ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧・指定外の使用電源(電圧・周波数)などによる故障および損傷。
   (ニ) 車両・船舶などに搭載された場合の故障および損傷。
   (ホ) 本書のご提示がない場合。
   (ヘ) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
   (ト) 消耗品などの交換。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
4. 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

●お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
●この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。


**象印マホービン株式会社**
〒530-8511 大阪市北区天満1丁目20番5号 ☎(06)6356-2451


**愛情点検** 長年ご使用のコーヒーメーカーの点検を!

こんな症状はありませんか

- ご使用中、コード・差込みプラグが異常に熱くなる
- 焦げくさいにおいがする
- 製品の一部に割れ・がたつき・ゆるみがある
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

こんな症状のときは、故障や事故の防止のため、必ず販売店に点検(有料)をご相談ください。



**ZOJIRUSHI**

## コーヒーメーカー

# 珈琲通®

## 型名 EC-JS80 型

# 取扱説明書

●このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

保証書つき

もくじ

# 安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、次の区分で説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 死亡や重傷に結びつく恐れがある内容です。 | ⚠注意 軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく恐れがある内容です。 |

■お守りいただく内容を、次の区分で説明しています。

| | |
|---|---|
| してはいけない「禁止」内容です。 | 実行しなければならない「指示」内容です。 |

## ⚠警告

分解禁止
**改造はしない。また修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない**
火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

水ぬれ禁止
**水に浸けたり、水をかけたりしない**
ショート・感電の原因になります。

ぬれ手禁止
**ぬれた手で差込みプラグを抜き差ししない**
感電・けがの恐れがあります。

接触禁止
**蒸気口に触ったり、手や顔を近づけない**
やけどの恐れがあります。
特に乳幼児には触らせないようご注意ください。

禁止
**子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない**
やけど・感電・けがの恐れがあります。

禁止
**交流100V以外では使用しない**
火災・感電の原因になります。

禁止
**ステンレスサーバーなしで使わない**
やけどの恐れがあります。

禁止
**コードや差込みプラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない**
感電・ショート・発火の原因になります。


禁止
**コードを傷つけない**
無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりするとコードが破損し、火災・感電の原因になります。

必ず実施
**差込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込む**
感電・ショート・発煙・発火の原因になります。

必ず実施
**定格15A以上のコンセントを単独で使う**
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火の原因になります。

必ず実施
**差込みプラグの刃（プラグの先端）および刃の取付面にほこりが付着している場合は、よくふく**
火災の原因になります。

必ず実施
**異常・故障時には、直ちに使用を中止する**
そのまま使用すると発煙・発火・感電・けがの原因になります。

<異常・故障例>
- ・コードや差込みプラグが異常に熱くなる
- ・コードに深い傷や変形がある
- ・焦げくさいにおいがする
- ・製品の一部に割れ・がたつき・緩みがある
- ・コードを動かすと、通電したり、しなかったりする
- ・スイッチを入れても動かない

**このような場合は、すぐに差込みプラグを抜いて、販売店に必ず点検・修理を依頼する**

●お買い上げの製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。
●お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

## ⚠注意

接触禁止
**使用中や使用後しばらくは高温部に手を触れない**
やけど・けがの恐れがあります。

禁止
**不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない**
火災の原因になります。

禁止
**抽出中にステンレスサーバーをはずさない**
やけどの恐れがあります。

禁止
**壁や家具の近くで使わない**
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。

禁止
**ステンレスサーバーを載せたまま本体を動かさない**
やけど・けがの恐れがあります。

プラグを抜く
**使用時以外は、差込みプラグをコンセントから抜く**
けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

必ず実施
**お手入れは冷めてから行う**
高温部に触れ、やけどの恐れがあります。

必ず実施
**差込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜く**
感電・ショート・発火の原因になります。

## お願い

**■専用のステンレスサーバー以外は使用しない**
コーヒーがあふれてやけどの恐れがあります。

**■ステンレスサーバーを電子レンジで使用したり直火（ガス台など）や電気ヒーター・IH調理器などの上に載せない**
発煙・発火・とっ手の変形・金属部から火花が飛び散る原因になります。

**■水タンクに水以外のものを入れない**
牛乳・酒・コーヒー・湯など水以外のものを水タンクに入れると故障の原因になります。

**■他の電気機器に蒸気が当たる場所では使用しない**
蒸気により、電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。

**■続けてコーヒーを作る場合は、スイッチランプが消えている状態で、5分以上待つ**
本体が熱いうちに給水したり動かしたりすると浄水フィルターから突然蒸気や熱湯が出て、やけどの恐れがあります。

**■空だきはしない**
水タンクに水を入れずに通電すると故障の原因になります。

**■水にぬれた場所で使用しない**
感電の恐れがあります。

**■ステンレスサーバーは、落としたり、固いものにぶつけたりしない**
樹脂部分が破損したり、ステンレスサーバー表面がへこみ、保温性能が低下することがあります。

**■ステンレスサーバーをドリップ以外の目的で使用しない。特に次のものは絶対に入れない**
- **●みそ汁やスープなど、塩分を含んだもの**
  ステンレスサーバー内側は、18-8ステンレスを使用しておりますが、さびたり、保温力が低下する原因になります。
- **●牛乳・乳飲料・果汁など**
  成分が腐敗することがあります。
- **●果肉・お茶の葉**
  詰まる・漏れるなど故障の原因になります。

**■使い終わったら、必ず差込みプラグをコンセントから抜く**
長時間通電を繰り返しされると故障の原因となり、異常過熱や発煙する場合があります。

**■ステンレスサーバー外側の底に貼っている底シールは絶対にはがさない**
さびや穴あきなど故障の原因になります。

# 各部のなまえ

●メッシュフィルターとペーパーフィルターを同時に使用する必要はありません。
●メッシュフィルターを使用した場合、コーヒーにコーヒー粉が混じることがあります。気になる場合は、ペーパーフィルターを使用してドリップしてください。

**しずくもれ防止機構について**

ステンレスサーバーを本体から取りはずしても、コーヒーのしずくがフィルターケースから漏れないようにするしくみです。

●使用の際には、コードを束ねている結束バンドをはずしてください。
●コードは束ねて使用しないでください。（コードが熱くなり、故障の原因になります。）

沸とうした湯を浄水フィルターに通し、カルキ臭を減らします。

●水質などにより、浄水フィルターが変色（茶色）することがありますが、使用上差しつかえありません。

**●ステンレスサーバーをコーヒードリップ以外の目的で使用しないでください。**

サーバーふたは密栓方式ではありませんので、転倒すると湯が漏れ、やけどの恐れがあります。

**付属品**

**●計量スプーン**
（すりきり一杯で使用）

**●ペーパーフィルター（2枚）**
ペーパーフィルターがなくなったときは、市販の（1×4）または（103）をお求めください。

**折り方**
①下を折る → ②横を折る → ③広げる



# 使い方 ドリップのしかた

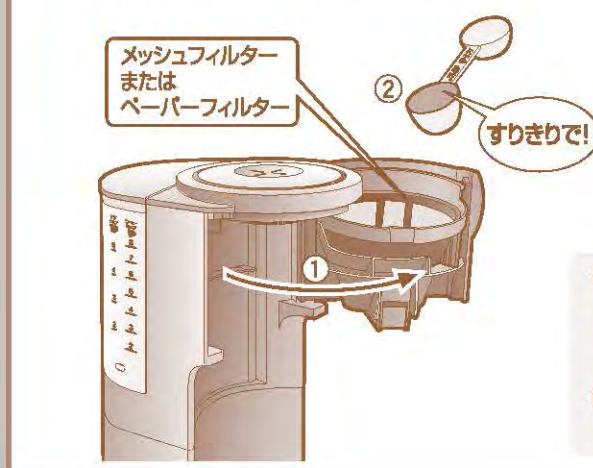
●この製品はコーヒーを作るためのものです。
**コーヒーを作ること以外には使わないでください。**
水以外のもの（牛乳・酒・コーヒー・湯など）を水タンクに入れると故障の原因になります。

●初めてご使用になるときや長期間使用しなかったときは、浄水フィルター・ステンレスサーバー・フィルターケース・メッシュフィルターなどを洗い、水だけで1〜2回ドリップしてください。

●使いはじめは、プラスチックのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。また初回は黒い粉が落ちることがありますが、これは浄水用の活性炭で無害ですので使用上差しつかえありません。

## 1 コーヒー粉を入れる

①スイングバスケットを開き、フィルターケースにメッシュフィルター（またはペーパーフィルター）をセットする

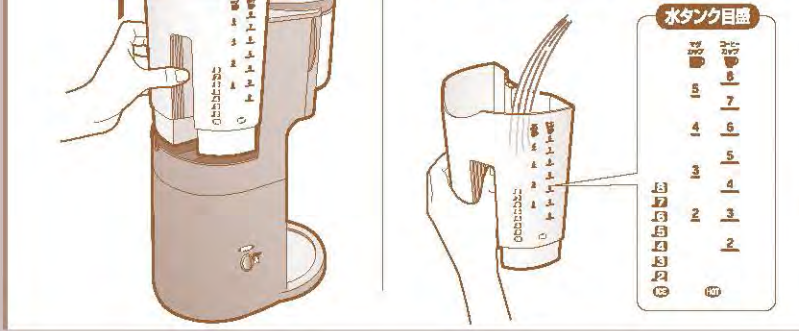
②コーヒー粉をメッシュフィルター（またはペーパーフィルター）に入れ、スイングバスケットが「カチッ」と音がするまで確実に閉める

**コーヒー粉標準使用量**

| | カップ数 | コーヒー粉量（計量スプーン） |
|---|---|---|
| コーヒーカップ | 8カップ | 8杯（約56g） |
| | 7カップ | 7杯（約49g） |
| | 6カップ | 6杯（約42g） |
| | 5カップ | 5杯（約35g） |
| | 4カップ | 4杯（約28g） |
| | 3カップ | 3杯（約21g） |
| | 2カップ | 2杯（約14g） |
| マグカップ | 5カップ | 5杯（約50g） |
| | 4カップ | 4杯（約40g） |
| | 3カップ | 3杯（約30g） |
| | 2カップ | 2杯（約20g） |

●細びき粉は使わないでください。
メッシュフィルター（またはペーパーフィルター）が目詰まりし、フィルターケースからコーヒーがあふれることがあります。
●コーヒーは、1カップ分だけ作ることはできません。2カップ以上で作ってください。

## 2 水タンクに水を入れる

①水タンクを本体からはずす

②作るコーヒーの量に合わせて、水タンク目盛まで水を入れ、水タンクふたをする

●水タンク目盛の HOT コーヒーカップ用「8」を超える水を入れないでください。
また、ドリップ中に水タンクに水をつぎ足さないでください。ステンレスサーバーからコーヒーがあふれる恐れがあります。

●水タンクに湯は入れないでください。
故障の原因になります。

# 使い方 つづき

## 3 ステンレスサーバーを予熱する

（ホットコーヒーのときのみ）

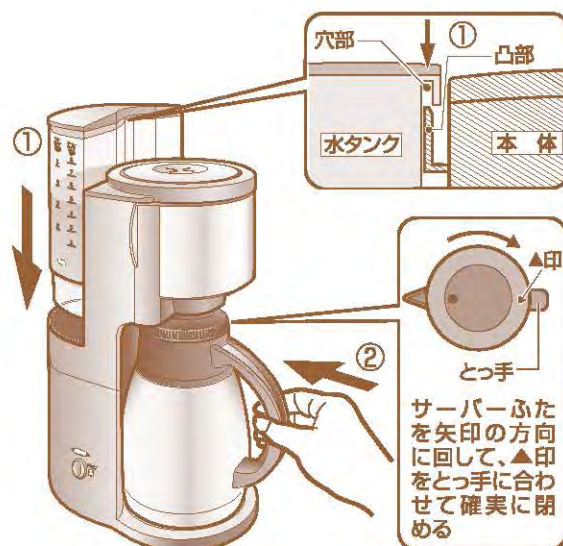
①ステンレスサーバーの保温効果を高めるために あらかじめ少量の熱湯を入れ、1分程度予熱する

②予熱後は、湯を捨てる

## 4 水タンク・ステンレスサーバーを本体にセットする

①水タンクの穴部を本体の凸部にセットし、根元までしっかりと入れる

②ステンレスサーバーの中が空であることを確認してからサーバーふたを閉め、本体にセットする

- ●水タンクの穴部が本体の凸部にセットされていないとドリップ中に湯が出ないことがあります。
- ●ステンレスサーバーの中に湯やコーヒーなどが入っている状態でドリップを開始すると、ステンレスサーバーからコーヒーがあふれる恐れがあります。
- ●ステンレスサーバーは、しずくもれ防止弁に無理な力を加えないように静かにセットしてください。

## 5 差込みプラグをコンセントに接続し、スイッチを入れる

スイッチランプが点灯し、ドリップを開始します。

「入」側に押すとスイッチランプが点灯し、スイッチが戻る

- ●本体を水にぬれた場所で使用しないでください。感電の恐れがあります。

**できあがり時間の目安** （水温・室温約20℃の場合）

| カップ数 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| コーヒーカップ | 3.5分 | 5分 | 6分 | 7.5分 | 8.5分 | 10分 | 11分 |
| マグカップ | 5分 | 7分 | 8.5分 | 10.5分 | — | — | — |

●できあがり時間は、水量・室温・粉の量などでかわります。

**◆途中でやめるときは…**

①差込みプラグをコンセントから抜く

②フィルターケースからコーヒーが出なくなったことを確認し、ステンレスサーバーとフィルターケースを取り出す

③本体が冷めてから水タンクに残っている水を捨てる

## 6 ドリップが完了したら コーヒーを注ぐ

**ドリップが完了すると自動的に電源が切れます。（スイッチランプが消灯）**

- ●電源が切れたあと、差込みプラグをコンセントから抜いてください。

**ステンレスサーバーを取り出し、サーバーふたの▲印を注ぎ口に合わせてコーヒーカップに注いでください。**

- ●注いだあとは、サーバーふたを閉めてください。
- ●スイッチランプが消灯しても、フィルターケース内にはコーヒーが残っています。フィルターケースからコーヒーが落ちてこなくなるまでステンレスサーバーを取りはずさないでください。
- ●サーバーふたを閉めても、ステンレスサーバーを傾けると、少量のコーヒーが注ぎ口やサーバーふたの上部の穴から漏れることがあります。

熱いコーヒーをお好みの方は、あらかじめカップを熱湯などであたためてから注いでください。

●次の場合、コーヒーが漏れることがありますのでご注意ください。
- •注ぐとき、必要以上に傾ける
- •持ち運ぶとき、傾けたり、横抱きする
- •転倒させる

**連続してコーヒーを作るときは…**

- ●スイッチランプが消えている状態で、**本体を5分以上冷ましてから**「使い方」の手順1より行ってください。
- ●**本体が熱いうちに給水したり、動かしたりしないでください。**

**保温するときは…**

- ●サーバーふたを確実に閉めてください。
- ●ステンレスサーバーはまほうびん構造になっていますが、コーヒー温度は時間の経過とともに徐々に低下していきます。
- ●少量のときや室温が低いときは、ステンレスサーバーにコーヒーの熱が取られ、コーヒーの温度が低くなります。
- ●長時間保温しますと、香りがぬけ、風味が悪くなりますので、早めにお召し上がりください。

## アイスコーヒーの作り方

**準備するもの**

◆アイスコーヒー用粉
◆氷
◆シロップ、生クリームなど

**作り方**

①使い方の1～5と同じ手順でコーヒーを作ります。

- ●ステンレスサーバーは予熱しないでください。
- ●計量スプーンは「コーヒーカップ用」を使用します。
- ●水量は水タンクの ICE の目盛に合わせます。

②サーバーふたをはずし、ステンレスサーバーに氷を入れて、かき混ぜながら冷やします。

③サーバーふたを閉めて、▲印を注ぎ口に合わせてグラスに注ぎます。

**ご注意**

- ●アイスコーヒーを1カップ分だけ作ることはできません。2カップ以上で作ってください。
- ●氷を入れたあとのコーヒーの液面は、図の位置までにしてください。氷を入れすぎると、コーヒーがあふれることがあります。

# お手入れ

差込みプラグをコンセントから抜き、
本体が冷めてからお手入れしてください。

- ●本体・コード・差込みプラグに直接水をかけたり、丸洗いはしないでください。（感電・故障の原因）
- ●食器洗い乾燥機・食器乾燥器を使用しないでください。（部品変形の原因）
- ●熱湯は使用しないでください。（変形や割れの原因）
- ●次のものは使用しないでください。
  - •台所用中性洗剤以外の洗剤、シンナー、ベンジン、漂白剤など（変色・割れ・劣化・腐食の原因）
  - •みがき粉・ナイロンたわし・ブラシ・金属製のもの・メラミンスポンジ・スポンジのナイロン面・研磨剤入り洗剤など（表面が傷つく原因）
- ●化学ぞうきんを使用する場合は、強くふいたり長時間触れさせたりしないでください。（表面が傷ついたり、化学変化を起こす原因）

◆お手入れしたあとは、よく乾燥させてください。

| | | |
|---|---|---|
| 本　体 | ①薄めた台所用中性洗剤を柔らかい布に含ませ、固く絞り、汚れをふき取る<br>②水で絞った布でよくふく<br>③乾いた柔らかい布で水分をふき取る | |
| しずくもれ防止弁 | ①フィルターケースの中に水を入れる<br>②しずくもれ防止弁を2～3回動かし、汚れを洗い流す | ●フィルターケースのしずくもれ防止弁にコーヒー粉が詰まると、弁が閉まらずコーヒーが漏れることがありますので毎回洗ってください。 |
| 浄水フィルター | 水で流し洗いし、よく乾燥させる<br>●浄水フィルターは消耗品です。目詰まりしている場合は、交換（有料）してください。水質や使い方により異なりますが、約2年に1回が目安です。（1日1回使用した場合） | ●洗剤は使わないでください。 |
| 水タンク<br>水タンクふた<br>フィルターケース<br>メッシュフィルター<br>スイングバスケット<br>サーバーふたセット | ①薄めた台所用中性洗剤を含ませたスポンジなどの柔らかいもので洗う<br>②水洗いする<br>③乾いた柔らかい布で水気をよくふき取る<br>●サーバーふたセットは消耗品です。損傷していたり、パッキンが変色してきた場合は、交換（有料）してください。 | ●台所用中性洗剤以外の洗剤などは使用しないでください。<br>●フィルターケース・スイングバスケット・サーバーふたは、十分に水切りをしてください。ドリップ中やコーヒーを注ぐときに水滴がたれることがあります。<br>●サーバーふたのコーヒー液通路部は、つまり防止のため毎回水で流し洗いしてください。 |
| ステンレスサーバー（外側） | ①薄めた台所用中性洗剤を含ませたスポンジなどの柔らかいもので洗う<br>②水洗い後、数回振る<br>③乾いた柔らかい布で水分をよくふき取る | ●ステンレスサーバーを水に浸さないでください。<br>すき間に水がたまり、さびや変形の原因になります。 |
| ステンレスサーバー（内側） | ①薄めた台所用中性洗剤を含ませた柄のついたスポンジブラシなどで、きれいに内面を洗う<br>②水洗いし、乾燥させる | ●常にお手入れをしていただきますと、においを防ぎ清潔に使用していただけます。 |
| コード<br>差込みプラグ | 乾いた柔らかい布でふく | |



## 湯の出が悪くなったら、クエン酸洗浄を行ってください。

コーヒーメーカーをお使いいただいているうちに水の中に含まれているミネラル分が製品内部の水管などに付着します。これは「湯アカ」といわれているものです。

**湯アカが付着すると、湯の出具合が悪くなりコーヒーの抽出量が少なくなったり、本体のすき間から湯漏れが発生する場合があります。**

●水質により、湯アカのつき具合はかわります。
ミネラル分の多い水質の地域やミネラルウォーターなどをご使用の場合は、湯アカがつきやすくなります。

湯アカは次の方法で取り除いてください。

### クエン酸洗浄のしかた

**●洗浄の前に浄水フィルターを必ずはずしてください。**
浄水フィルターをつけたままクエン酸洗浄を行うとクエン酸のにおいがついたり、コーヒーの味がかわる原因になります。
浄水フィルターを取りつけたままクエン酸洗浄した場合は、さらに水だけで1～2回ドリップしてください。

**●洗浄用クエン酸は象印製品取扱店でお求めください。（別売品→P.11）**
クエン酸は食品添加物として使用されており、食品衛生上無害ですが食べないでください。

①水タンクにクエン酸小さじ2杯(約8g)を入れる
②コーヒーカップの給水目盛「8」まで水を入れる
③クエン酸が水に溶けるまでよくかき混ぜる
④ステンレスサーバーとサーバーふた・フィルターケース・スイングバスケットを本体にセットし、ドリップする
⑤クエン酸溶液が水タンク目盛「2」まで減ったときに差込みプラグをコンセントから抜く
⑥ドリップされたクエン酸溶液を別の容器に移して冷まし、中に混ざっている湯アカ(白い結晶など)を除く
⑦⑥のクエン酸溶液を再度水タンクに入れ、④～⑥をくり返す
⑧本体が十分冷めてから、ステンレスサーバーと水タンク内にあるクエン酸溶液を捨ててすすぎ、水で数回ドリップする

## ステンレスサーバーの汚れについて

ステンレスサーバー内側にこびりついたコーヒーの汚れには、「象印ステンレスボトル用洗浄剤 ピカボトル 」をご使用ください。（別売品→P.11）

●お手入れのときは、サーバーふたセットをステンレスサーバーからはずしてください。

# 各部のはずし方・つけ方

## フィルターケース

**はずし方**

①スイングバスケットの
とっ手を持って
開ける

②フィルターケース
をはずす

## ふたパッキン

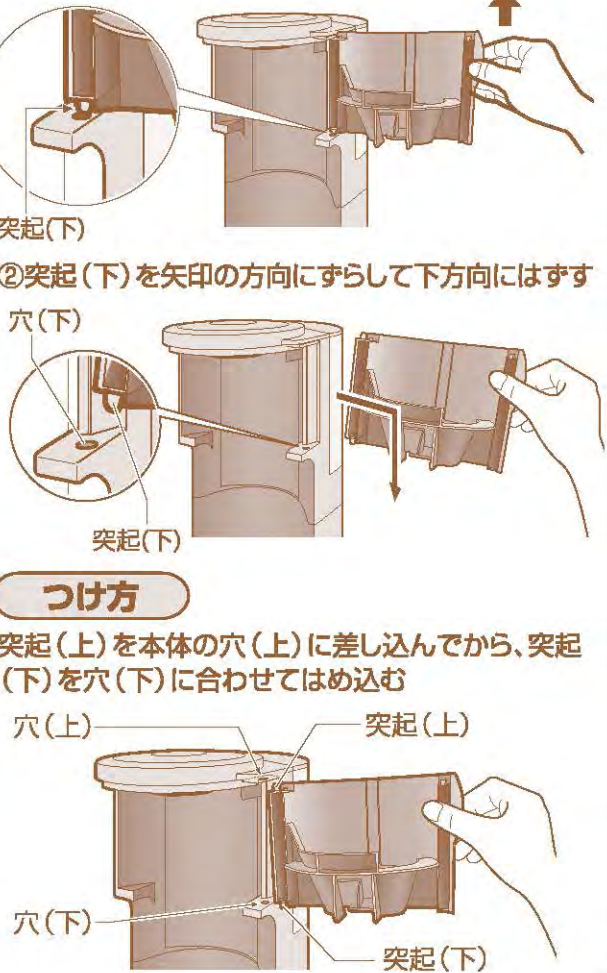
お手入れなどではずしたふたパッキンは、ねじれなどに注意して、図のように取りつける

## スイングバスケット

●スイングバスケットを全開にして、ステンレスサーバーを取りはずしてから行ってください。

**はずし方**

①スイングバスケットを押し上げて、突起（下）を浮かせる

②突起（下）を矢印の方向にずらして下方向にはずす

**つけ方**

突起（上）を本体の穴（上）に差し込んでから、突起（下）を穴（下）に合わせてはめ込む

## 浄水フィルター

●このイラストは下から見たものです。

**はずし方**

浄水フィルターを矢印の方向へ回してはずす

●湯を完全に取り除き、本体が十分に冷めてから行ってください。（やけどの恐れがあります。）

**つけ方**

浄水フィルターのつめ部を本体の凹部に合わせて矢印の方向に回す

●最後まで、しっかり回して固定させてください。

# 故障かなと思ったとき

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。

| こんなときは | お調べいただくこと | 直しかた |
|---|---|---|
| スイッチを「入」にしても通電しない | 差込みプラグがコンセントから抜けていませんか? | 差込みプラグをコンセントに差し込んでください。 |
| 湯が出ない<br>出にくい | 水タンクに水が入っていますか? | 水タンクに水を入れてください。 |
| | 水タンクは正しくセットされていますか? | 水タンクを正しくセットしてください。 |
| | 湯アカが付着していませんか? | クエン酸洗浄を行ってください。(→P.9) |
| コーヒーがぬるい<br>(保温が効いていない) | 長時間保温していませんか? | コーヒーの温度は時間の経過とともに徐々に低下します。 |
| | コーヒーの量が少ないときや室温が低いときは、コーヒーの温度が低くなります。 | |
| サーバーふたから「カラカラ」という音がする | ステンレスサーバーが万一転倒した場合、コーヒーの流出を少なくするためのボールの音です。異常ではありません。 | |

# 部品の交換・購入について

●損傷した場合は、新しい部品と交換（有料）してください。
●お買い求めの際には製品の型名および部品名をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。
（ホームページでのご購入は裏表紙参照）

| | 部品名 | 部品番号 |
|---|---|---|
| 部品 | コーヒーメーカー用浄水フィルター | EC-F01-JY |
| 部品 | コーヒーメーカー用ステンレスサーバー(サーバーふたセットつき) | SERECJS-○○ |
| 部品 | コーヒーメーカー用サーバーふたセット | BG307810A-01 |
| 部品 | コーヒーメーカー用計量スプーン | 717250-01 |
| 別売品 | ポット内容器洗浄用クエン酸 ピカポット(30g×4包入り) | CD-KB03-J |
| 別売品 | ステンレスボトル用洗浄剤 ピカボトル(10g×4包入り) | SB-ZA01-J |

○○表示は部品色柄記号です。お求めの際は製品の色柄記号までご指定願います。
（側面シールに表示）

<表示例> 色柄：HW ダークグレー

# 仕様

●この製品は、日本国内交流100V専用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance was designed for use in Japan only where the local voltage supply is AC 100V and should not be used in other countries where the voltage and frequency vary. After sales-service for this appliance is not available outside of Japan.

| 型名 | EC-JS80 | 方式 | ドリップ式 |
|---|---|---|---|
| 電源 | 交流100V 50/60Hz | コードの長さ | 約1.3m(ゴムコード) |
| 消費電力 | 650W | 外形寸法(約cm) | 幅24×奥行17×高さ38.5 |
| 容量 | 最大水容量 1080mL | 質量 | 約2.4kg |

●外形寸法はとっ手を除いた寸法です。

# アフターサービス

### 1. 保証書の内容のご確認と保管のお願い

必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

### 2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間

### 3. 修理を依頼されるとき

**《保証期間中》**

製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。

**《保証期間を経過しているとき》**

修理すれば使用できる製品は、ご要望により有料修理いたします。

### 4. 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後 5年間

※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### 5. 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**「技術料」**は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**「部品代」**は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**「出張料」**は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

**■お客様ご自身での修理・分解や改造は絶対にしないでください。**